

令和2年(2020年)12月19日(土曜日)

# 三島の景観に国際賞

## 水都支える地域協働評価

富士山からの湧き水が市街地を流れる三島市の景観と環境保全活動が、国連ハビタット福岡本部などが主催する「アジア都市景観賞」に輝いた。アジアの幸せな生活環境の構築を目指す国際賞で、県内では初の受賞。かつて汚染された源兵衛川に清らかなせせらぎを復活させるなど、水都・三島を支える地域の取り組みが評価された。



松毛川で続けられている環境保全活動＝三島市

申請団体は同市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島。1990年代に水流の減少で汚染された源兵衛川はGW三島と官民の協働によって美しくよみがえり、現在は夏になるとホタルが飛び交うなど三島のシンボルにもなっている。GW三島は沼津との市境を流れる松毛川沿岸の土地も買収し、植林して森づくりを進めるなど永続的な管理を続けている。

同市の境川・清任緑(三島支局・金野真七)

地では今年、植生や水生生物を残しつつ展望デッキや遊歩道などを整えた湧水公園も完成。三島駅から源兵衛川を経て柿田川や狩野川へ続く散策コースをつなぐなど、県や市も水辺環境の整備に力を入れている。

GW三島の渡辺豊博専務理事は「水を守る三島の取り組みが国際的な評価を受けた。今後も地域と連携して貴重な三島の宝を守り続けたい」と語る。